

6 議題（2）

鴻巣市下水道事業 経営戦略の概要

第1回審議会 資料5

鴻巣市下水道事業経営戦略の概要

- 1 策定の目的
- 2 経営戦略の位置づけ
- 3 計画期間
- 4 下水道事業の課題
- 5 基本理念と基本目標
- 6 目標実現に向けた施策

1 策定の目的

鴻巣市、吹上町（昭和56年4月～）、川里町（平成13年4月～）供用開始
1市2町の合併による事業統合（平成17年10月）

「地方公営企業会計」を適用（平成19年4月）

- 事業の経営状況を的確に把握
- 資産管理を効率化して、適切な維持管理や事業投資を実施

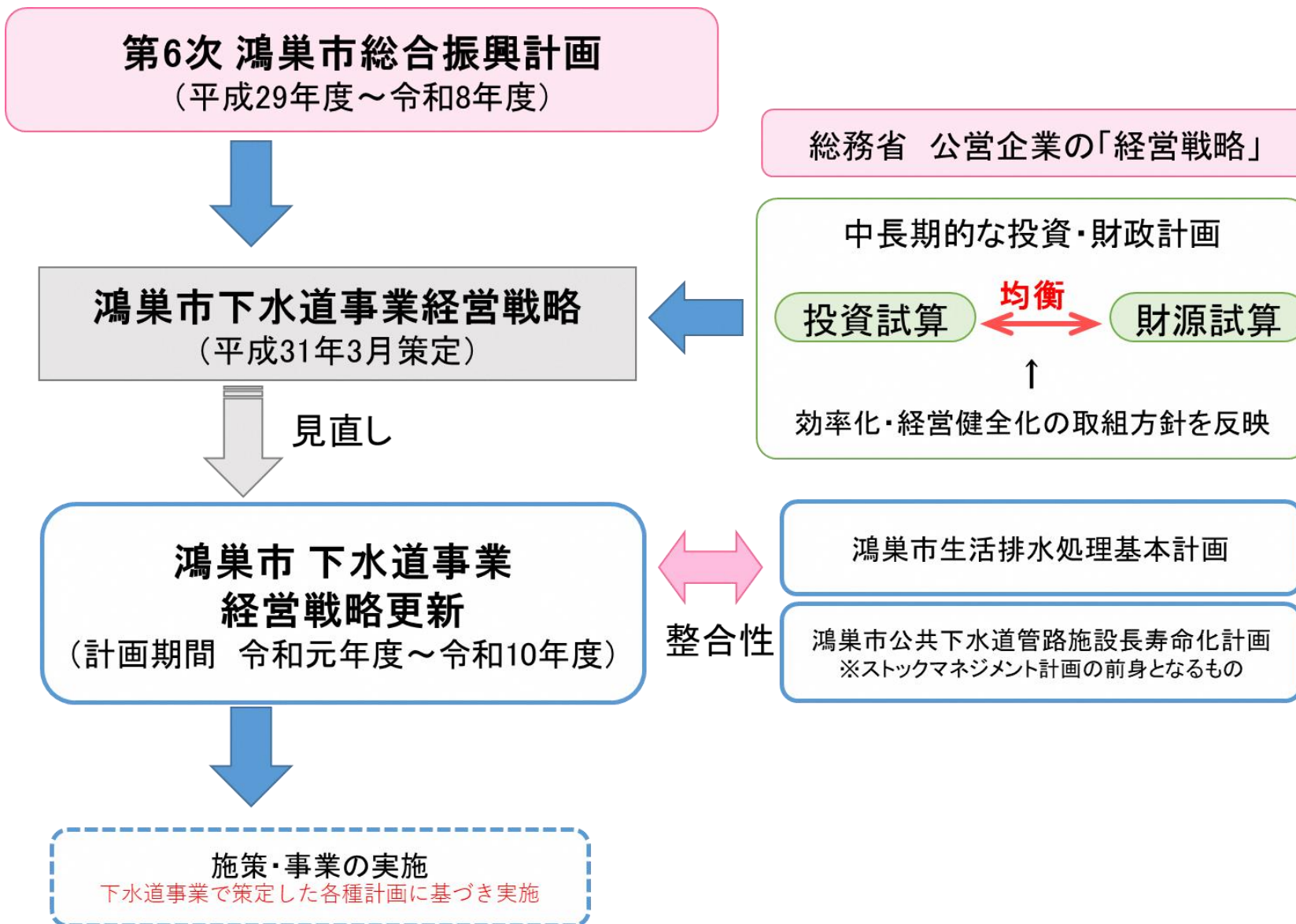
下水道事業における課題

- 土地区画整理事業などによる下水道の整備
- 浸水被害、地震被害に対する備え
- 下水道施設の更新需要の増加 ● 中長期的な視点に立った経営

持続可能な下水道事業の運営を図るため

「鴻巣市下水道事業経営戦略」（平成31年3月）策定

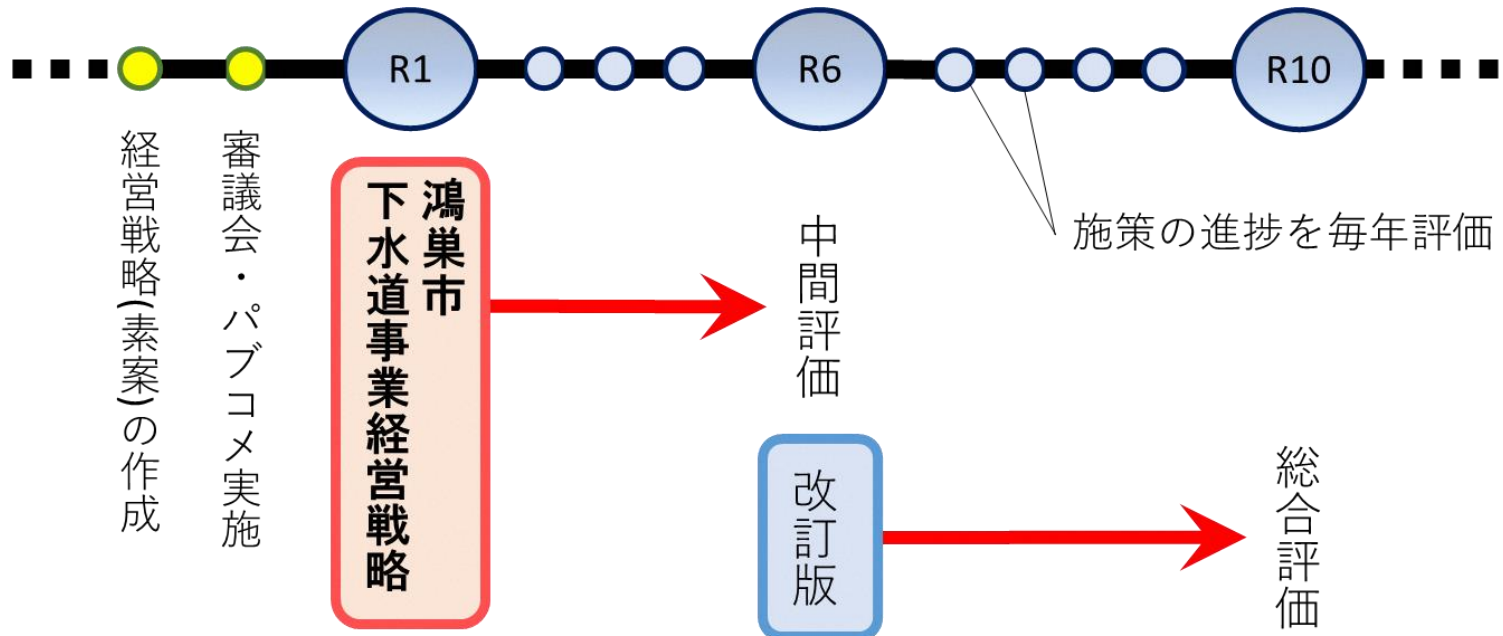
2 経営戦略の位置づけ



3 計画期間

- 令和元年度から令和10年度までの10年間
(50年後、100年後の将来像を長期的に見据え策定)
- 事業の進捗状況を毎年評価

⇒概ね5年毎に、経営戦略の評価および更新を行う



4 下水道事業の課題

◆快適な生活環境の確保

- 汚水整備の推進（未普及地区の解消、区域の見直し）

⇒ 汚水整備を進めつつ、計画区域を適切に設定する

◆整備済み区域

H29末 1,448ha

整備率 94.6%



R4末 1,504ha

整備率 97.2%

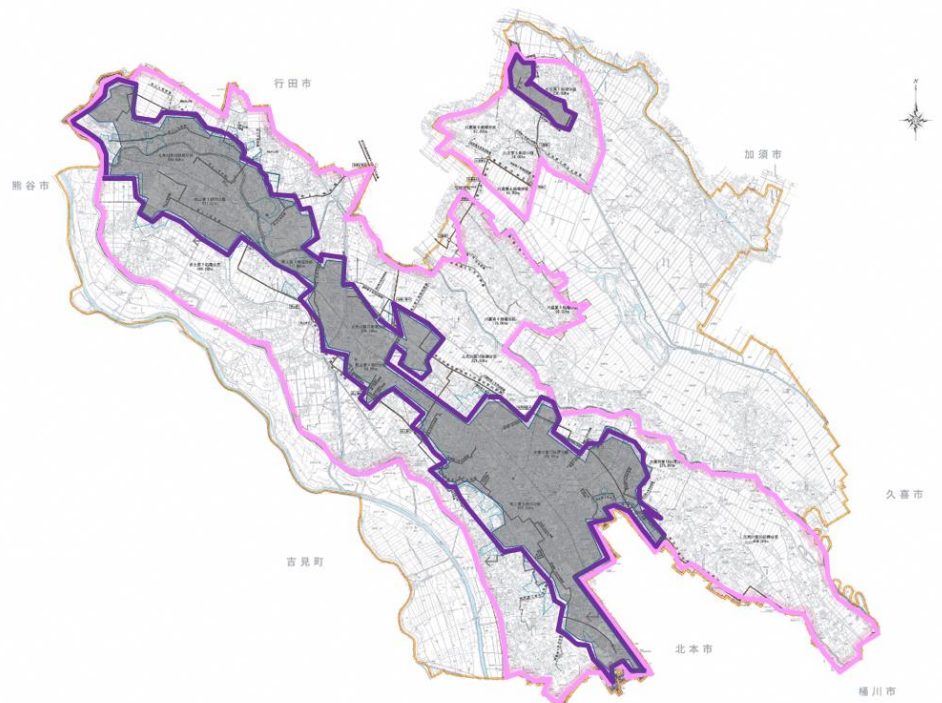


図 鴻巣市流域関連公共下水道(汚水)整備区域図

4 下水道事業の課題

◆災害に対する安全性の確保

●雨水整備の継続（浸水防除）

⇒浸水被害を軽減するため、雨水整備を継続する

◆整備済み区域

H29末 304ha

整備率 40.7%



R4末 331ha

整備率 44.4%

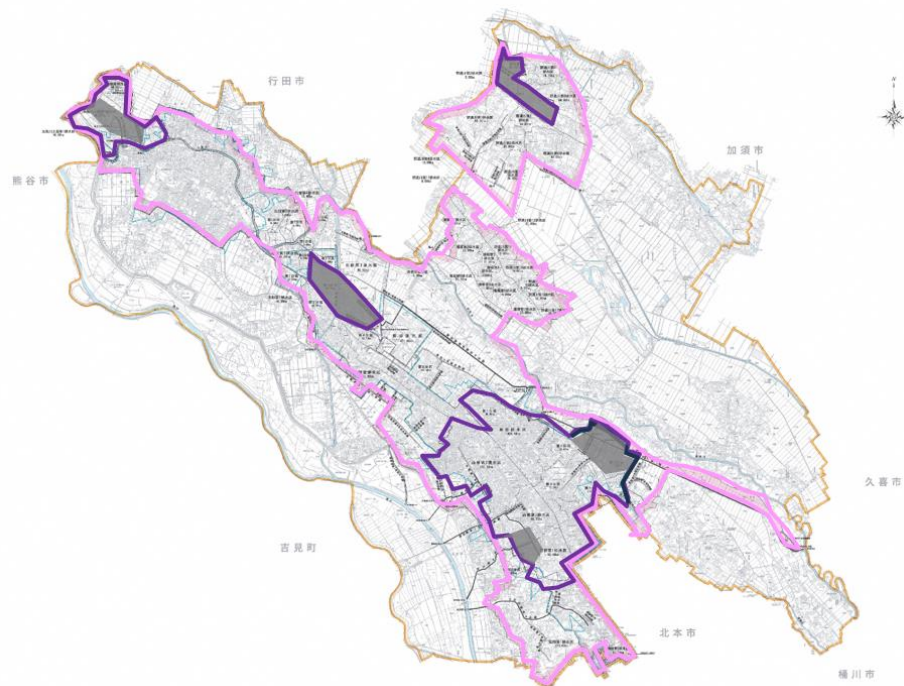


図 鴻巣市流域関連公共下水道(雨水)整備区域図

4 下水道事業の課題

◆災害に対する安全性の確保

●地震対策の推進（計画の策定、財源の確保）

⇒下水道施設の耐震性能の確認、耐震化の実施

⇒「下水道総合地震対策計画」の策定

⇒「下水道BCP（業務継続計画）」の実効性の維持

4 下水道事業の課題

◆健全で持続的な下水道事業の実現

●老朽化対策の推進(財源の確保)

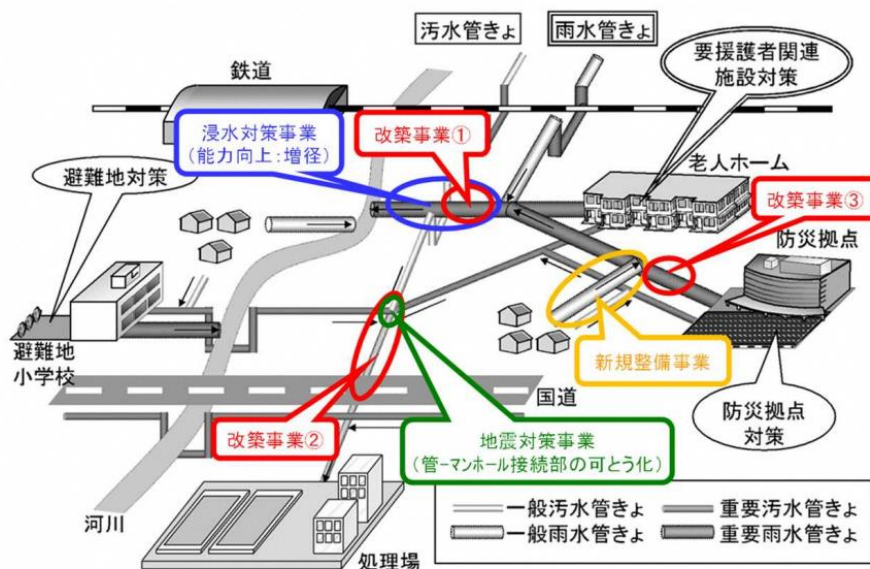
⇒膨大なストック（資産）を将来にわたって適切に管理

◆布設延長（污水管渠）

平成29年度末 約423km



令和4年度末 約441km



維持管理のイメージ

4 下水道事業の課題

◆健全で持続的な下水道事業の実現

(経営指標による現状把握)

●本市と同規模の類型団体と指標の比較を実施

事業	処理区域内人口(人)	区分	有収水量密度(m3/ha)	区分	供用開始後年数	区分
公共下水道	政令市	政令市等	7.5千以上	a	25年以上	1
特定環境保全公共下水道	10万以上	A	5.0千～7.5千未満	b	15年～25年未満	2
農業集落排水施設等	5万～10万未満	B	2.5千～5.0千未満	c	5年～15年未満	3
小規模集合排水処理施設等	1万～5万未満	C	2.5千未満	d	5年未満	4
	5千～1万未満	D				
	5千未満	E				

■…本市が該当する区分



令和4年度決算 経営比較分析表

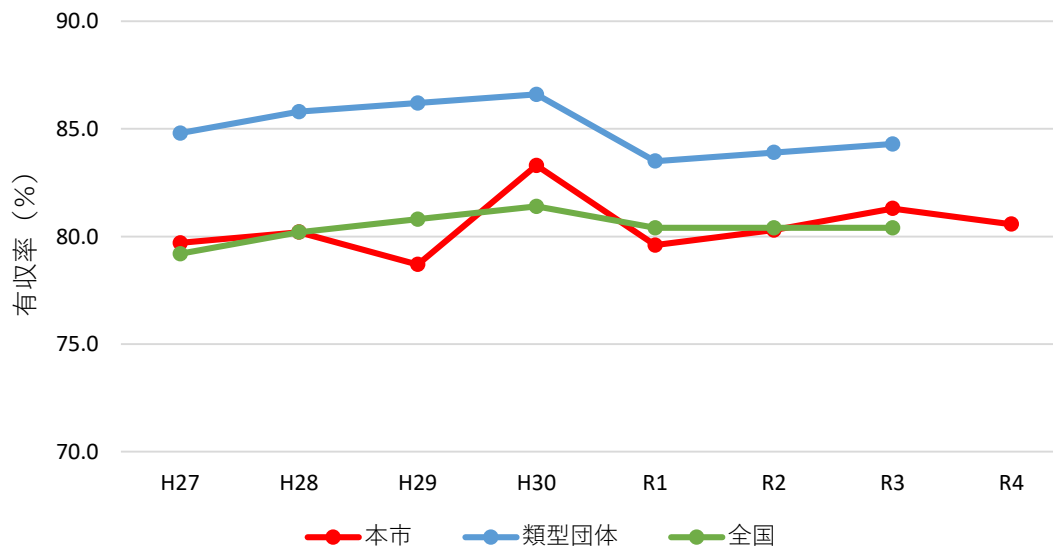
⇒課題の抽出 (有収率、経費回収率、適正な使用料の検討)

4 下水道事業の課題

◆健全で持続的な下水道事業の実現

●有収率の向上

⇒有収率（有収水量 ÷ 汚水処理水量）が低い傾向



注釈：R4年度は類似団体、全国で決算が未公表のため本市のみ表記

出典：下水道事業経営指標・下水道使用料の概要（総務省）

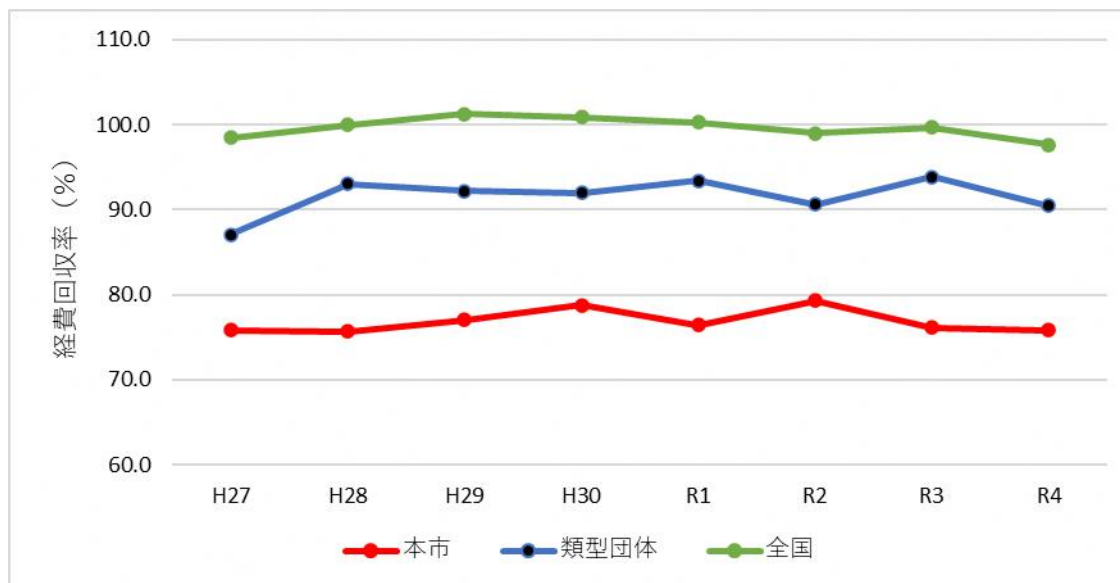
⇒不明水処理により施設の効率性が下がっている

4 下水道事業の課題

◆健全で持続的な下水道事業の実現

●経費回収率の向上

⇒経費回収率（使用料収入 ÷ 汚水処理費）が低い傾向



類似団体：処理区域内5～10万人、有収水量密度5～7.5^m³/ha、供用開始25年以上の本市と同規模事業

出典：下水道事業経営指標・下水道使用料の概要（総務省）

⇒汚水処理に要する費用を収入で賄えていない

5 基本理念と基本目標

◆ 基本理念

「豊かな自然と快適で安心な暮らしを、
未来へつなぐ 鴻巣の下水道」

◆ 基本目標

- 快適な生活環境の確保
- 災害に対する安全性の確保
- 健全で持続的な下水道事業の実現

6 目標実現に向けた施策

快適な生活環境の確保

【基本方針】未普及地区の解消

- 汚水管整備の継続
- 全体計画区域の見直し

災害に対する安全性の確保

【基本方針】浸水に対する備え

- 雨水対策施設の整備

【基本方針】地震に対する備え

- 総合地震対策計画の策定
- 既存下水道施設の耐震化
- 下水道BCPの継続的運用

健全で持続的な下水道事業の実現

【基本方針】施設の老朽化対策

- 計画的な調査・点検
- 計画的な修繕・改築

【基本方針】経営の安定化

- 接続率の向上（戸別訪問）
- 下水道使用料の見直し
- 資本費平準化債の活用
- 有収率の向上

【基本方針】管理体制の効率化

- 組織体制の維持
- 広域化の推進
- 民間活用の推進
- 技術継承

【基本方針】広報活動

- マンホールカードの配布
- 見学会・出前講座の開催

6 目標実現に向けた施策

～快適な生活環境の確保～

◆汚水管整備の継続

- 市街化区域を中心に下水道の新規整備を継続

⇒令和7年度（2025年度）までに市街化区域（1,530.1ha）
の整備完了



2025年度までの
整備完了

6 目標実現に向けた施策

～快適な生活環境の確保～

◆全体計画区域の見直し

- 費用対効果や水質保全効果を検証し、下水道整備が必要な区域を抽出
- 適切な全体計画区域の見直し



全体計画区域の見直しのイメージ

6 目標実現に向けた施策

～災害に対する安全性の確保～

◆ 浸水に対する備え

● 雨水対策施設の整備の継続

⇒浸水実績や人口集中箇所から、早期に対策が必要な箇所を優先

⇒令和10年度（2028年度）までに7.1kmの雨水幹線の整備
を目標に進める



出典：令和元年東日本台風の被災状況（忍川（行田市））埼玉県HP

6 目標実現に向けた施策

～災害に対する安全性の確保～

◆ 地震に対する備え

- 総合地震対策計画の策定

 - ⇒総合地震対策計画を令和7年度（2025年度）までに策定

- 既存下水道施設の耐震化

 - ⇒重要な管きよの耐震診断及び、耐震補強の実施

 - ⇒重要な幹線等の耐震化を令和8年度（2026年度）より着手



令和6年能登半島地震における下水道施設被災状況

6 目標実現に向けた施策

～災害に対する安全性の確保～

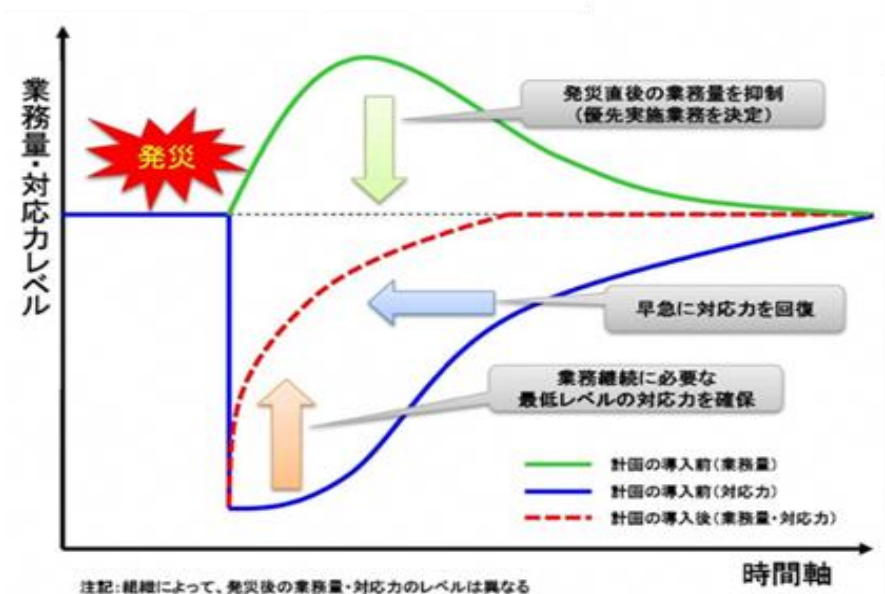
◆ 地震に対する備え

● 下水道BCP の継続的運用

⇒災害発生時でも適切に業務を継続することを目的としたもの

⇒職員の参集方法や、他の自治体や民間企業との応援・連絡体制、行動計画を定めたもの

下水道BCPの導入による効果のイメージ⇒



6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 施設の老朽化対策

- スtockマネジメント計画の策定

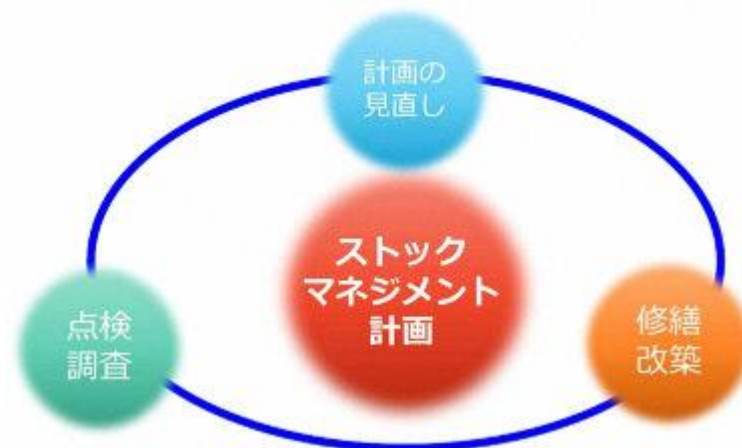
⇒ 効率的な施設のマネジメントを行う

- 調査・点検の実施

⇒ 腐食が懸念される管きよは5年に1度点検

- 修繕・改築の実施

⇒ 調査・点検で不具合が発見された管きよは、修繕や改築を実施



6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 経営の安定化

● 接続率の向上（戸別訪問）

⇒公共用水域の水質保全、下水道の整備に要した投資の回収により、安定した下水道経営を行っていくためにも重要

⇒令和10年度（2028年度）までに接続率98.0%を目指す

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 経営の安定化

● 下水道使用料の見直し

⇒更新を見据えた資産維持費や人口減少による使用料収入の減少

⇒令和5年度（2023年度）までに見直し検討



下水道使用料見直しのイメージ

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 経営の安定化

● 資本費平準化債の活用

⇒世代間の負担に差が生じないように、資本費平準化債を継続的に活用

⇒100 百万円/年を発行予定



資本費平準化債のイメージ

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 経営の安定化

● 有収率の向上（不明水対策）

⇒老朽化対策として実施する管路内調査と併せ、不明水の有無をチェック

⇒必要な箇所には地下水や雨水の侵入を防ぐ対策を実施

⇒効果的な不明水対策に関する情報収集の継続

使用料の対象とならない地下水や雨水の侵入（不明水）を防ぐことにより、有収率の向上につなげる。

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 管理体制の効率化

- 組織体制の維持

 - ⇒業務の効率化により新規事業にも現状の人員での対応

- 広域化、民間活用の推進

 - ⇒市町村の枠を越えた広域化の推進

 - ⇒管路、ポンプ場維持管理の包括的民間委託の導入検討

- 技術継承

 - ⇒講習会等への参加、定量的評価のための指標の設定

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 広報活動

- マンホールカードの配布
⇒市をイメージしたマンホールカードを作成、配布
- 現場見学会の開催
⇒下水道水処理施設の見学
- 出前講座
⇒「職員出前講座」の実施

